CS こひつじ科礼拝式次第

2023 年 2 月 26 日　午前 9 時 30 分

２０２３年度年間テーマ：「主イエスの教えに聞き従うものになろう」
テーマ曲：ワワワいっしょに（９２番）
暗唱聖句：「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、
これらのものはみな加えて与えられる。」　　マタイによる福音書６章３３節

９．めぐみ　うけて（こどもさんびかをお用いください）

おいのり　礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしょ　マタイによる福音書 6 章 25 節～34 節

「だから、言っておく。自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思い悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。 空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。 あなたがたのうちだれが、思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。 なぜ、衣服のことで思い悩むのか。野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。 しかし、言っておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。 今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか、信仰の薄い者たちよ。 だから、『何を食べようか』『何を飲もうか』『何を着ようか』と言って、思い悩むな。 それはみな、異邦人が切に求めているものだ。あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである。 何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。 だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。」

おはなし　　「神さまの豊かさに生きる」　　若月道子先生

今日の聖書箇所は、イエス様が語られた「山上の説教」の一部です。
そして、今月の暗唱聖句の箇所でもあります。先日の合同分級で、みんなで一緒に声に出してよみましたが、ほとんどのお友達がスラスラと言えていたので、ビックリしました。そして、とても嬉しかったです。
さて、わたしたちが、生きていくには、食べるものがあって、着るものがあって、住む所がなければなりません。それなので、それがあれば生きて行けると思ってしまいます。だから、それを求め、もっともっと、お金がほしい、お金があれば何でもできると考えてしまいます。しかし、聖書はそのようなお金や必要な物を誰が与えてくれるのか教えています。わたしたちは、神さまによって食べ物が与えられ、着るものが与えられ、住む所が与えられているのです。何よりも神さまによって命が与えられているのです。
イエス様は、空の鳥をよく見なさい、と言われます。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしないのに、神さまは養ってくださっているのです。野の花を見なさい、と言われます。働きもしない、つむぎもしないのに、ソロモン王様よりも着飾っている。神さまが装って下さっているからです。
わたしたちは、生きていくために様々なことで、悩んだり、思い煩ったりしてしまいます。神さまは、そ

の苦しみから解放してくださろうとして、語って下さっているのです。わたしたちは、自分で何とかしようと、神さまを見上げるのを忘れてしまいます。
　そんな時も、天の父なる神さまは、私たちの必要を満たそうとして下さる方であることを信じ、確信して歩みましょう。
　さあみんなで今月の暗唱聖句を言いましょう。
「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」　　マタイによる福音書６章３３節

⁂　小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。
　　おいでの際におささげください。

６６、神の国とその義（こどもさんびかをお用いください）